

令和5年度事業報告書

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

1. 第61回久留島武彦文化賞の贈呈

選考委員＝衛藤征士郎、小森美巳、結城昌子、若井田正文

団体賞＝紙芝居文化の会

〈賞状、賞牌(久留島武彦レリーフ)、副賞30万円〉

団体賞＝下関少年少女合唱隊

〈賞状、賞牌(久留島武彦レリーフ)、副賞30万円〉

12月14日、財団ホームページで受賞者の公式発表を行った。

2. 第44回巖谷小波文芸賞の贈呈

選考委員＝巖谷國士、さくまゆみこ、野上暁、百々佑利子

受賞＝長倉洋海

〈賞状、賞牌(巖谷小波レリーフ)、副賞50万円〉

特別賞＝公益財団法人 東京都慰霊協会(復興記念館)

〈賞状、賞牌(巖谷小波レリーフ)、副賞10万円〉

12月14日、財団ホームページで受賞者の公式発表を行った。

3. 青少年のための芸術鑑賞会の企画開催

①青少年劇場巡回公演

開催期間＝令和5年5月29日～令和5年11月17日

開催回数＝77回 ((R4=86回、R3=78回、R2=57回、R元=94回)

開催地域＝岩手、宮城、栃木、富山、静岡、佐賀、長崎、鹿児島

鑑賞者数＝17,255名

主な出演者・団体

〈音楽〉上原潤之助、小山慶宗、クリストファー・ハーディ、小瀧俊治、佐野正一、ジョン・海山・ネプチューン、高木由雅、土崎譲、土山如之、鳥羽亜矢子、直居隆雄、中須美喜、長田伸一郎、成田伊美、福原左和子、ブラックボトムブラスバンド、古館由佳子、三好のぶちか、米津真浩

〈伝統芸能〉大蔵流狂言山本会、桂米多朗、林家楽一、柳家禽太夫、柳家小はだ

②青少年劇場小公演

開催期間＝令和5年5月30日～令和5年11月24日

開催回数＝81回（R4=86回、R3=59回、R2=73回、R元=146回）

開催地域＝宮城、秋田、新潟、富山、奈良、和歌山、鳥取、山口、大分

鑑賞者数＝10,336名

主な出演者

＜音楽＞池山由香、伍芳、鍵富弦太郎、神田将、小瀧俊治、境信博、沈琳、篠原梨恵、永田平八、中村均一、西上和子、山田明美、吉澤実、米津真浩、若山健太

＜伝統芸能＞柳家禽太夫

③「ふれあいコンサート」公演

開催期間＝令和5年5月26日～令和6年2月3日

開催回数＝8回（R4=6回、R3=6回、R2=11回、R元=13回）

開催地域＝愛知、岐阜、東京

参加人数＝1,206名

出演者

ふれあいトリオ[吉田恭子(ヴァイオリン)、渡部玄一(チェロ)、秋元孝介(ピアノ)]

プライベートトリオ[工藤和真(テノール)、鈴木玲奈(ソプラノ)、河野紘子(ピアノ)]

協賛＝東レ(株)、三井E&Sホールディングス(株)

4. 青少年のための芸術体験ワークショップの開催

①青少年邦楽教育プログラム「和楽器体験ワークショップ」の企画開催

開催日・学校＝令和6年2月1日・目黒区立東山小学校／2月2日・目黒区立東山小学校／
2月5日・目黒区立駒場小学校／2月6日・目黒区立上目黒小学校／2月7日・目黒区立
向原小学校／2月20日・目黒区立宮前小学校／2月21日・目黒区立緑ヶ丘小学校

開催回数＝7回

参加者数＝352名

出演・講師＝稲田康(監修、司会)、オーケストラアジア ジャパンの演奏家

5. 文化・芸術行事への講師・出演者の派遣

開催期間＝令和5年6月14日～令和5年11月22日

開催回数＝23回（R4=16回、R3=22回、R2=7回、R元=14回）

開催地域＝宮城、福島、栃木、東京、兵庫、広島

主な出演者・団体

飯面雅子、大蔵流狂言山本会、桂米多朗、境信博、坪内晋司、はせがわ天晴、万作の会、水野与旨久、柳家禽太夫、山田明美

令和5年度事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年5月

公益財団法人日本青少年文化センター